

スポット

萩（離島含む）エリア

初代萩市役所は萩・明倫学舎の隣にあった！

発信したい情報

初代庁舎の門柱

理由

萩市役所の庁舎ができたのは大正14（1925）年の春、まだ萩町の時代のこと。菊屋家から用地と600円が寄付され、現在のJA山口県萩統括本部がある場所に建設されました。開庁の際、長州新聞では「三階の展望台に上れば大萩町は一目の内に展開、指月山菊ヶ浜、玉江方面まで四方手に取る如くに見られる」と報じられ、まだ田んぼやハス田が多かった当時、遠くからでもよく見える建物であったことが想像できます。それから約半世紀後に新庁舎が出来、市役所は現在の位置に移転。昭和54（1979）年に萩市農協が同地を払い受け本館が建築された際、竣工の記念碑として初代庁舎の門柱を保存しました。現在もJA山口県萩統括本部の入口で実物を見ることができますので、ぜひ行ってくださいね！

詳細情報

場所：萩市江向4 3 1?2（はぎポルトから歩いてすぐ）

（情報は2024年3月17日現在のものです）